

令和6年度 第1回 井伊谷小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月26日（金） 午後2時30分から午後4時30分まで
- 2 開催場所 井伊谷小学校 音楽室
- 3 出席委員 安戸 哲弘、高林 幸子、中村 朋子、田力 弘美、田力 圭治、
池田 信子、瀬川 健太郎、阿形 公裕
- 4 欠席委員 永田 琢也
- 5 学校支援コーディネーター 中野 正雄
- 6 学 校 芦田 康宏（校長）、小山 貴広（教頭）
山下いづみ（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
(1) 令和6年度学校運営の基本方針について
(2) 井伊谷小学校いじめ防止等のための基本方針について
(3) 夢やらまいか事業に対する意見書について
- 10 議 長 高林 幸子委員
会議録作成者 CSディレクター 山下いづみ
- 11 会議記録

○市教育委員会牧野指導主事より「学校運営協議会規則」「学校運営協議会自己評価表」について説明があった。

○委員の自己紹介ののち、司会の教頭から委員総数9出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度学校運営の基本方針について

「井伊谷小グランドデザイン」「井伊谷小アクションプラン」について校長から説明があった。

委員からは以下の質問、意見があった。

- ・めざす子ども像のなかで「ねばり強く取り組む子」については、並列の扱いではなく3つの事に取り組むときのすべてに係るものだと認識している。また協議会の認知度について、昨年度は広めようとしたが効果はそれほどでもなかった。（安戸会長）
- ・学校運営の根幹について協議する場はここしかない。入学式やPTA 総会での紹介で周知されていくことで、もっと意見が出てくる。「心豊かにたくましく伸びる子」というものが明確になり、子供たち自身で見つける力をつけてもらいたい。（校長）
- ・他人事を自分事としてとらえ考えることが、子供たちや保護者に浸透していけば、レベルアップしていくのではないか。（高林委員）
- ・井伊谷小の子供たちには、競争心が少ないように見受けられる。自分の弱いところを個人それぞれの課題として、闘争心をもってやり抜くといったことも必要なのではないか。（中野委員）

- ・家庭教育を抜いての競争心を育てるのは難しいと思われる。(阿形委員)
- ・学校への期待が大きいのは分かる、学校教育だけで何かしようとは思っていない。
(校長)
- ・他人との競争ではなく、自分との勝負ということで、タブレットの持ち帰りを高学年が始めている。課題で出されたことをやることで、AIがその子の苦手な問題を判断し正答が出るまで繰り返すことで学習する仕組みになっている。(教頭)
- ・学校教育目標を「自分事」として子供たちがどこまで理解するか、落とし方が難しいのでは。(池田委員)
- ・グランドデザインは校長が職員と共有して繋がりをしっかりとやっていくのが大事だと思う。担任がそれをどうやって取り込んでいくかも。(鈴木委員)
- ・「心豊かにたくましく伸びる子」を育てるためには何が必要か、もう少し明確になり子供たちが見つける力を付けていけるよう職員が一致した方向で進めたい。(校長)
- ・市教委への質問として、他校のCS会議の交流はできるか。(中野委員)
- ・何を目的とするかによるが、前例はない。コーディネーターには研修があるのでその場で情報を集めることもできる。また他校運営協議会を傍聴することもできる。
(市教委牧野)
- ・6月の授業参観で子供たちの様子も見て、学校目標がどんな風に現れているのかを判断して考えてもいいのではないかと。(高林委員)
- ・激しく競争をする時代ではないが、子供たちの心に火をつけるような取り組みを紹介して、授業参観で見てもらい次回熟議の議題の参考とさせてもらう。(教頭)

(2) 井伊谷小学校いじめ防止等のための基本方針について

令和6年度浜松市井伊谷小学校いじめ防止基本方針【改定のポイント】について校長から説明があった。

委員からは以下の意見があった。

- ・いじめを受けたことを専任で対応する担当者がいるか。未然防止はできないが、早めに気軽に相談できる場所が欲しいのではないかと。(田力圭治委員)
- ・基本的には担任であるが、担当者がある。タブレットを持ち帰り、家で落ち着いて回答もできる。(校長)
- ・窓口はたくさんあり、子どもSOSのカードの配布、タブレットやスマホを使って市の教育支援課へ直接相談できる。いじめが疑われる場合、まずは管理職、生徒指導、担任で初期対応をする。本人や周辺児童に聞き取り調査を徹底し、事実確認を行なった後に、指導を進めていく。生徒指導委員会で「今ちょっと心配」「気になる」「誰々がこういう傾向にあります」ということは職員の間で共通理解している。(教頭)
- ・自分事として考えることはイコール思いやりであり、その場でまずは謝ることが大切である。(田力弘美委員)
- ・いじめ防止対策という習慣がこのような話し合いをして浸透していく。自力解決していく部分もあるが、そうではない場合は拾い上げて自力で解決できる力をつけてあげたい。(校長)

- ・ いじめは処罰の対象であると子供たちに知らせるべきなのは。（瀬川委員）
- ・ 法律については６年生で遵法教室がある。（校長）

（３）夢育やらまいか事業に対する意見書について

運営委員会の意見書として承認する。

（４）その他報告事項

①年間行事予定

②令和６年度学校運営協議会開催日時予定について

次回会議は、令和６年６月１４日（金）午後１時０５分から授業参観を含め開催する旨の報告があった。